

## 3. 2 討議結果



## 第1分科会

山地流域における  
土砂の生産・移動実態を考慮した  
砂防計画について



第1分科会  
「山地流域における土砂の生産・移動実態を  
考慮した砂防計画について」

分科会の内容

土木研究所土砂管理研究グループ  
火山・土石流チーム  
酒井直樹・秋山一弥

1. 目標

流砂系における土砂モニタリングで現在まで明らかになった点と、課題として残されている山地流域における土砂生産量の予測手法の問題点を整理し、今後新砂防基本計画を策定するうえで必要となる土砂生産予測手法について討議を行う。このため、

- ①新砂防基本計画の概要
- ②流砂系の土砂モニタリング実施で明らかとなった事項と残された課題 を切り口に、
- ③現状の土砂生産量推定手法とその問題点、土砂生産量及び山地河川流量の推定精度向上に必要な検討内容、現地観測の方法と推定手法の概念について
- ④現在実施している事例の紹介と問題点についての順に議論を行う。

2. 議論のテーマ

第1分科会の討議のテーマは次のとおり。

- ・新砂防基本計画で改良された点は何か？
- ・流砂系の土砂モニタリング実施で明らかとなった事項と残された内容は何か？
- ・土砂生産量の推定手法や精度向上に必要な検討内容は何か？ 現地調査における問題点は何か？

討論(1)

●10/5(水) 第1日目(15時～17時)

①新砂防基本計画の概要 国総研砂防研究室:水野主任研究官

・新砂防基本計画について、現行の砂防基本計画との比較を含めて、河床変動計算を中心に紹介を行う

②流砂系の土砂モニタリング実施で明らかとなった事項と残された課題

国総研砂防研究室:水野主任研究官

・流砂系モニタリングで明らかになった事項と残された課題について、安倍川の事例を含めて紹介を行う

討論(2)

●10/5(水) 第1日目(15時～17時)

③現状の土砂生産量推定手法とその問題点、土砂生産量及び山地河川流量の推定精度向上に必要な検討内容、現地観測の方法と推定手法の概念について  
土研火山土石流チーム:秋山主任研究員

・

・短期の現地調査手法と推定モデルについて  
土研火山土石流チーム:酒井研究員

・

・中長期の現地調査手法と推定モデルについて  
土研火山土石流チーム:秋山主任研究員

・

討論(3)

●10/6(木) 第2日目(9時～12時)

④現在実施している事例の紹介

・短期(表層崩壊) (広島県・八幡川水系荒谷川)

・

・短期(中規模崩壊) (山形県・最上川水系立谷沢川(松沢))

・

・短期(中規模崩壊) (栃木県・鬼怒川水系大谷川(下の沢))

・

・短期(大規模崩壊) (山梨県・富士川水系早川(小春木川))

・

#### 討論(4)

##### ●10/6(木) 第2日目(9時~12時)

##### ④現在実施している事例の紹介(中長期)

- ・中長期(溪岸・溪床浸食) 長野県・天竜川水系与田切川(オンボロ沢)

・

- ・中長期(溪岸・溪床浸食) (山梨県・富士川水系早川(春木川))

・

- ・中長期(表面浸食) (高知県・吉野川水系朝谷川)

・

#### 討論(5)

##### ●10/6(木) 第2日目(9時~12時)

##### ⑤全体討議・とりまとめ

土研火山・土石流チーム:酒井研究員・秋山主任研究員

- ・山地流域における土砂生産予測手法について、土砂生産量の推定手法や精度向上に必要な検討内容について課題抽出のための議論を行う

・

- ・これまでの取り組み事例と現地調査における問題点、今後の方針について

・